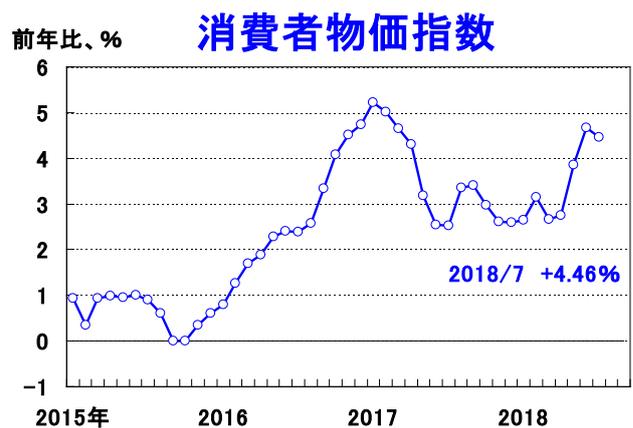
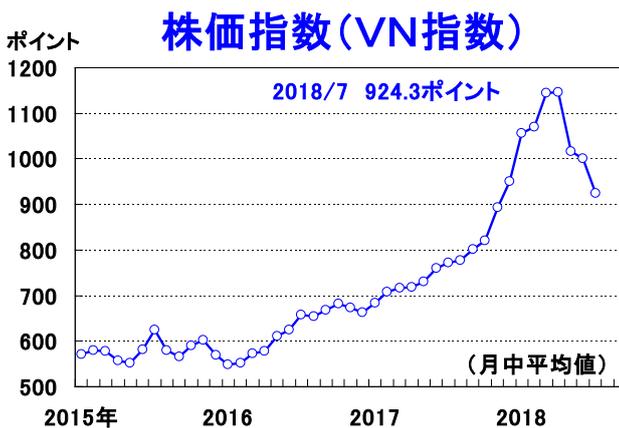
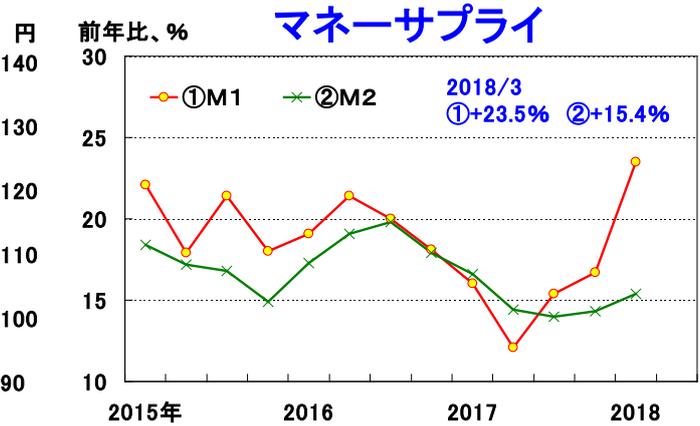
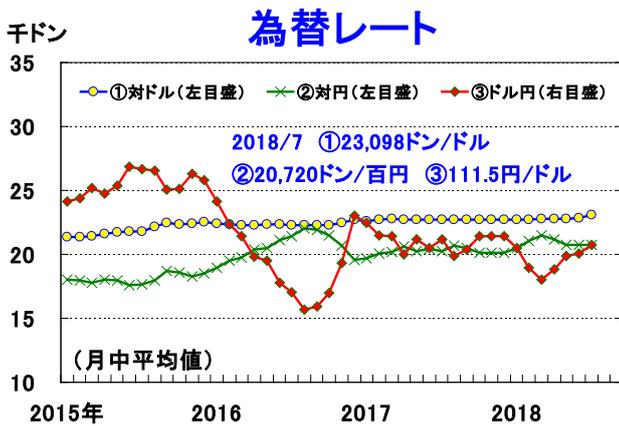
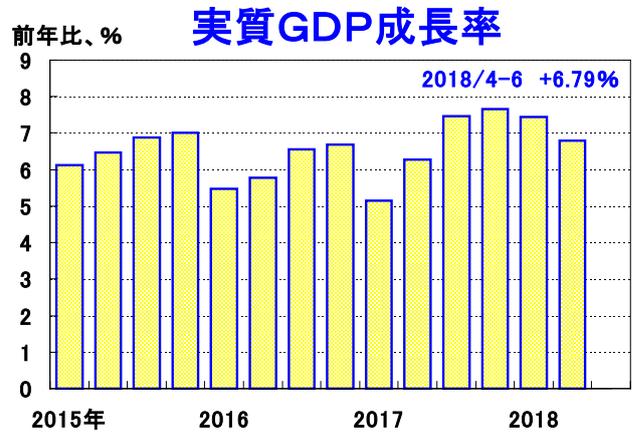
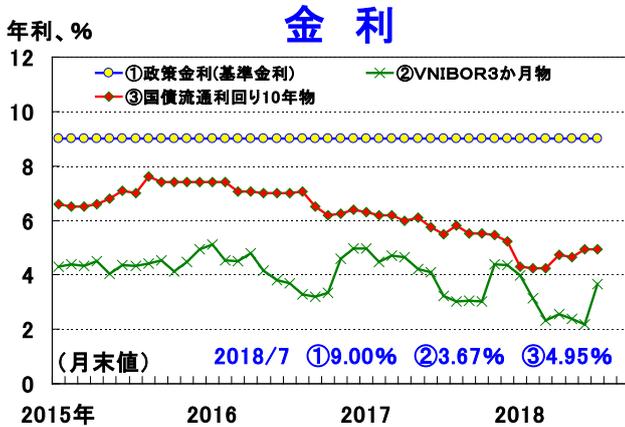


グラフで見るベトナム経済 2018年8月号(No. 103)

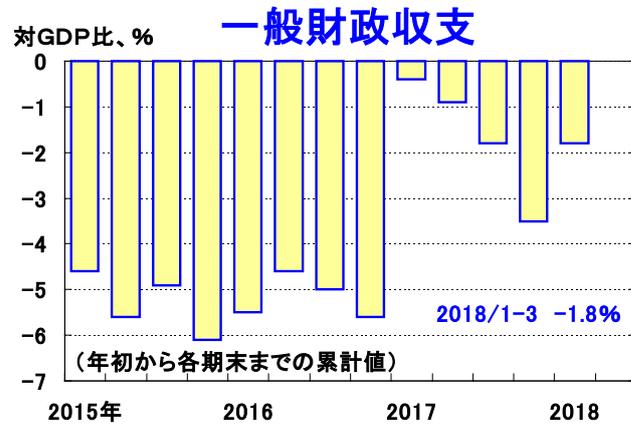
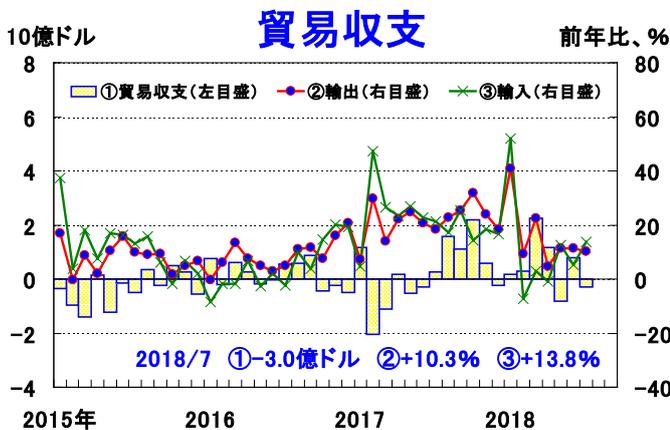
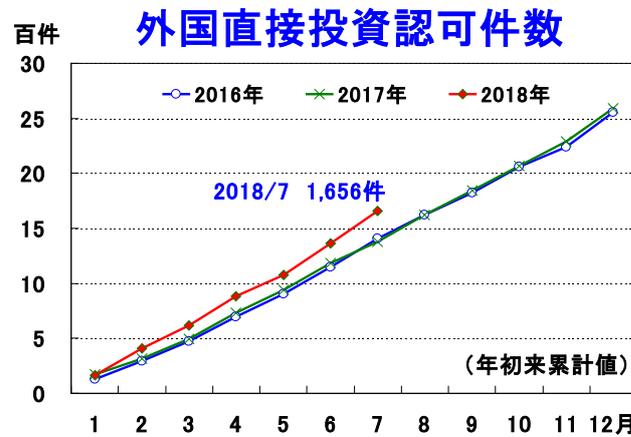
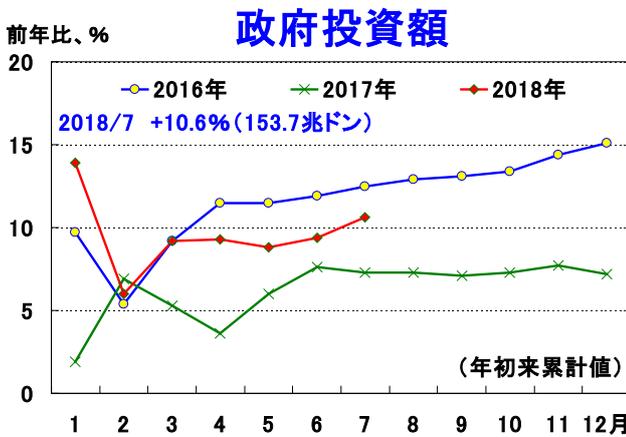
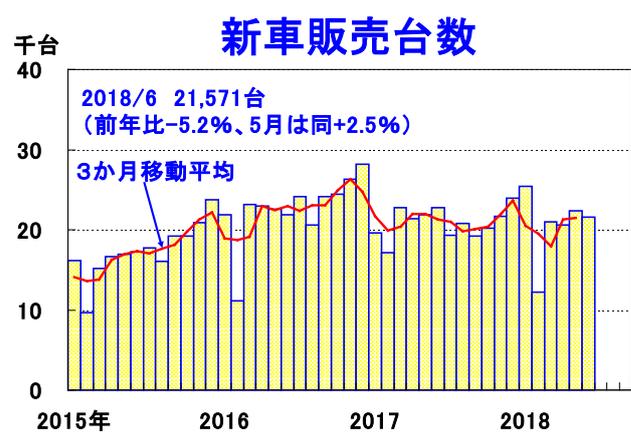
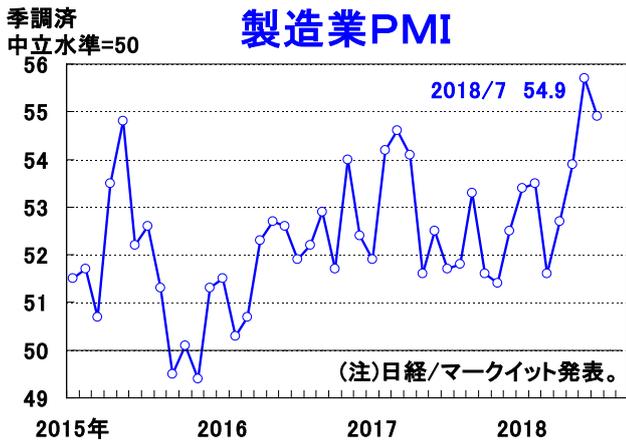
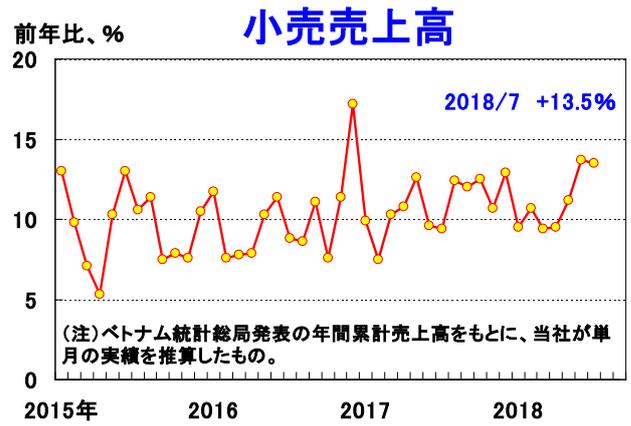
ベトナムの景気は着実に持ち直しつつある。内需をみると、個人消費の動向を表す小売売上高は7月に前年比+13.5%と堅調に増加した。外需に関しても、同月の輸出が同+10.3%と3か月連続で2桁増となった。こうした中、7月の鉱工業生産は前年比+14.3%と6か月ぶりの高い伸びとなった。業種別にみると、コークス及び精製石油製品(6月:前年比+242.3%→7月:同+606.4%)が大幅な増産となり、医薬品(6月:同+22.3%→7月:同+63.4%)も加速した。また、7月の製造業PMI(中立水準は50)も54.9と高水準で推移した。



【今月のトピック: 拡大する自動車の生産台数】 ベトナム商工省(Ministry of Industry and Trade)の推計によると、2018年1~7月累計の自動車の生産台数は14万800台、前年比9.5%増となった。ベトナム政府は自動車産業の育成を重視している。ベトナムは自動車の裾野産業が乏しいため、多くの自動車部品を輸入に頼っている。このため、ベトナム政府は、2018年1月から主要な自動車部品の関税をゼロとする措置を導入した。産業政策戦略研究所(Industrial Policies Strategies Institute)では、2025年に自動車生産台数は53万台を上回ると予測している。

(出所) ベトナム国家銀行(SBV)、ベトナム統計総局(GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。